

意見書案第19号

TPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加をやめるよう求める意見書


上記、議案書を別紙のとおり提出します

平成25年3月21日

栗東市議会

議長 下田 善一郎 様

提出者 栗東市議会議員

大西時子 

賛成者 栗東市議会議員

下田若美 

TPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加をやめるよう求める意見書（案）

安倍首相は、2月22日アメリカのオバマ大統領と首脳会談を行い、TPP交渉について「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」として、「なるべく早い段階で決断したい」と、3月15日交渉への参加を表明しました。

しかし、首脳会談後に発表された日米共同声明では「交渉に参加する場合には、すべての物品が交渉の対象にされる」とされ、また「包括的で高い水準の協定を達成していくことを確認する」としています。交渉の入り口で関税撤廃から重要品目を除外するという担保もなく、例外扱いを求めても交渉次第で関税が維持できるという保証もありません。

昨年総選挙で、自民党はTPP交渉について「聖域なき関税撤廃を前提とする限り反対する」と公約し、さらに「国民皆保険制度や食の安全性基準を守る」など6項目の公約を示しています。ところが日米首脳会談では、「聖域なき関税撤廃が前提でない」ことだけにしぼり、関税以外の5項目を切り捨てる内容です。もしこのようなことになれば、日本の農業のみならず、食の安全、医療、雇用、環境、地域経済など、国益が脅かされるのは必至です。

よって、政府におかれては、TPP交渉への参加をやめるよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月22日

栗東市議会議長 下田 善一郎

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣
厚生労働大臣